

2024（令和6）年度 徳島大学美土利会 総会

議 案 書

令和6年 6月1日（土）

15:45 ～ 16:30

於：徳島県建設センター

# 総 会 次 第

司 会：総務委員長

開 会

司 会 者

## I. 会長挨拶

## II. 議 事

議 長：会 長

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 1. 令和5年度事業報告            | 幹 事 長 |
| 2. 令和5年度決算報告            | 幹 事 長 |
| 3. 令和5年度監査報告            | 監 事   |
| 4. 会長・副会長の選出及び令和6年度本部役員 | 幹 事 長 |
| 5. 令和6年度事業計画            | 幹 事 長 |
| 6. 令和6年度予算              | 幹 事 長 |
| 7. その他                  | 幹 事 長 |

## III. 母校の近況

学 科 長

## IV. 支部の近況

支 部 長

閉 会

司 会 者

# 1. 令和5年度 事業報告

## (1) 令和5年度総会

令和5年6月3日(土) 徳島県建設センターにおいて、令和5年度総会・懇親会を4年ぶりの対面形式で開催した。各支部の支部長をはじめ130名の出席があった。

橋本会長を議長として、令和4年度事業報告と決算報告があり、これを承認した。

令和5年度事業計画案及び予算案が説明され、原案通り承認された。

## (2) 支部との交流・交歓

1) 令和5年度総会において、全国12支部の支部長あるいは支部長代理の方々の出席があり、近年交代された支部長から支部の近況報告を兼ねた挨拶があった。母校と支部の近況報告は資料にまとめて美土利会ウェブで公開した。

2) 支部総会は、すべての支部で対面開催を再開した。母校の教員が次表のとおり出席し、本部や母校の近況について報告した。

令和5年度 美土利会支部総会開催状況

支部名	開催日	開催形式／母校からの出席教員
関 東	令和5年5月19日	河口 洋一
東 海	令和5年7月8日	— (工業会と合同開催)
大 阪	令和5年11月17日	滑川 達
兵 庫	令和5年7月28日	山中 亮一
山 陰	令和5年11月18日	小川 宏樹 (工業会と合同開催)
岡 山	令和5年11月10日	奥嶋 政嗣
広 島	令和5年7月7日	渡邊 健
香 川	令和6年1月27日	蔣 景彩 / 金井 純子
徳 島	令和5年6月3日	数名 (本部総会と同日開催)
愛 媛	令和5年6月17日	中田 成智
高 知	令和5年12月2日	上野 勝利
九 州	令和5年11月11日	野田 稔 (工業会と合同開催)
短大同窓会	令和5年12月1日	山中 英生

## (3) 役員会及び委員会の活動

### 1) 常任幹事会

令和5年6月3日(土)に4年ぶりに対面開催し、総会議案書について審議するとともに、新たな企画案等について意見交換を行った。

### 2) 幹事会

令和5年7月27日(木)に第1回幹事会をリモート形式で開催し、各種委員会活動計画について意見交換を行った。各委員会の令和5年度事業計画を審議し、承認した。

令和6年5月16日(木)に第2回幹事会をリモート形式で開催し、令和5年度の事業報告、

決算報告等を承認するとともに総会の議案書等について審議した。

### 3) 事業企画・評価委員会

令和6年5月16日（木）に事業企画・評価委員会をリモート形式で開催した。令和5年度の事業評価と各事業の課題について検討し、今後の新たな企画・活動等について意見交換を行った。

### 4) 総務委員会

令和6年3月22日（金）に総会実行WGを開催し、令和6年度総会の開催方法等について協議した。

令和6年4月15日（月）に総務委員会をリモート形式で開催し、令和5年度の事業報告や令和6年度総会について審議した。

受章・受賞された下記の方に、記念品を贈呈した。

上月 康則 徳島大学教授（建設昭和63年卒） 令和5年 防災功労者防災担当大臣表彰  
橋本 親典 徳島大学教授 令和5年 徳島県科学技術大賞  
喜多宏思（短土昭和39年卒） 令和5年 秋の叙勲 旭日中綬章  
近藤 光男 徳島大学教授（土木昭和54年卒） 令和6年 河川功労者表彰  
青山 吉隆 様（徳島大学旧教員） 令和6年 春の叙勲 瑞宝中綬章

ご連絡をいただいた下記の物故会員に弔電等で弔意を表した。

#### 令和5年度 物故会員一覧

竹原 廉（S19年）	長尾 郁夫（S24年）	堀 真穂（H12年）
大野 勇記（S28年）	村上 卓史（S49年）	山下 敦（S36年）
真砂 圭祐（H9年）	小川 欣美（S43年）	遠藤 嘉昭（S31年）
坂野 清（S32年）	藤原 脩二（S32年）	三谷 宏平（S36年）
亀川 和正（S46年）	硯川 敏之（S16年）	香川 郁夫（S23年）
牛田 正治（S36年）	森 一宏（S52年）	福島 秀吉（S36年）
岸下 勲（S35年）	宮田 隆弘（H26年）	船曳 邁（S17年）
定兼 雅義（S44年）	浅田 茂樹（S48年）	桐川 宏（H03年）
加納 武司（S37年）	川口 隆由（S44年）	吉成 武（S39年）
香川 政視（S54年）	植田 峰雄（S19年）	大場 勝英（S19年）
村田 眞司（H5年）	小川 清（S50年）	山本 英作（S39年）
山口 博（S32年）	岡田 勝（S19年）	立石 康雄（S51年）
小河 清之（S56年）	則近 慶一（S42年）	奥田 義郎（S35年）
小出 雅彦（S35年）	齋藤 憲司（S34年）	藤崎 富市（S20年）
西野 泰正（旧職員）	河端 巖（S19年）	定本 寛明（S50年）
吉岡 敬治（S59年）	飯間 龍彦（S53年）	一藁 貞一（S31年）
石井 芳広（S58年）	小野寺 稔（S51年）	

（以上50名。敬称略。令和5年5月24日～令和6年5月17日の間に事務局にお届けがあった順）

成績優秀の下記学生に大野賞及び美土利会賞を贈って表彰した。

<修了・卒業生> 令和5年度表彰者

◎大野賞 : 理工学部(昼間コース) 白髪 祐伸

◎美土利会賞 : 理工学部(昼間コース) 林 美里

◎美土利会賞 : 理工学部(夜間コース) 中嶋 丈留

<在学生> 令和5年度表彰者

◎1年生対象:美土利会賞 フレッシュヤーズ賞 10名

新見 歩乃佳, 大島 愛優博, 甲斐田 哲平, 大西 海璃, 中井 希優,  
家守 風希, 厨 琉斗, 辻本 泰盛, 田澁 英暉, 清井 春之

◎2年生対象:美土利会賞(専門科目) マスターズ賞 10名

鈴木 敦也(\*\*\*) , 楠本 健太郎, 草津 心基, 倉本 新大(\*\*), 田中 陽和,  
浅田 菜々子(\*\*)

(\*\*)は2重複受賞, (\*\*\*)は3重複受賞

◎3年生対象:美土利会賞 ネクスト・リーダー賞 13名

猪股 研斗, 徳石 奈央子, 小山 悠太, 市川 碧基, 池下 昇也, 吉田 充希,  
小畠 直将, 天羽 祥太, 横尾 真希, 岡本 凌, 白髪 祐伸, 竹内 颯太,  
清水 椋太

令和5年度の卒業・修了生を対象に、令和6年1月10日(水)に美土利会説明会をリモート形式で開催した。対象学生には各支部からのメッセージ集を配布し、さらに卒後の令和6年5月にはメールで支部連絡先を周知した。

令和6年4月8日(月)、新1年生の日帰り研修を支援するとともに、名入れグッズを配布して美土利会をPRした。

## 5) 会員委員会

令和5年度の会費納入は、3月末現在で予算(320万円)に対して3,105,000円、納入率97.0%であり、昨年度より57,000円の増であった。引き続き、自動引落としやカード決済での納入など、納入率を高める方策を進めることとした。

美土利会ウェブの認証を済ませた方は、3月末時点で35.8%(5,745名中2,055名)となっており、毎年僅かずつ増加している。

## 6) 交流・広報委員会

美土利会の広報活動活性化を図り、会費納入率向上、会員活動の活性化を目的に活動を行った。令和5年度の内容を下記に報告する。

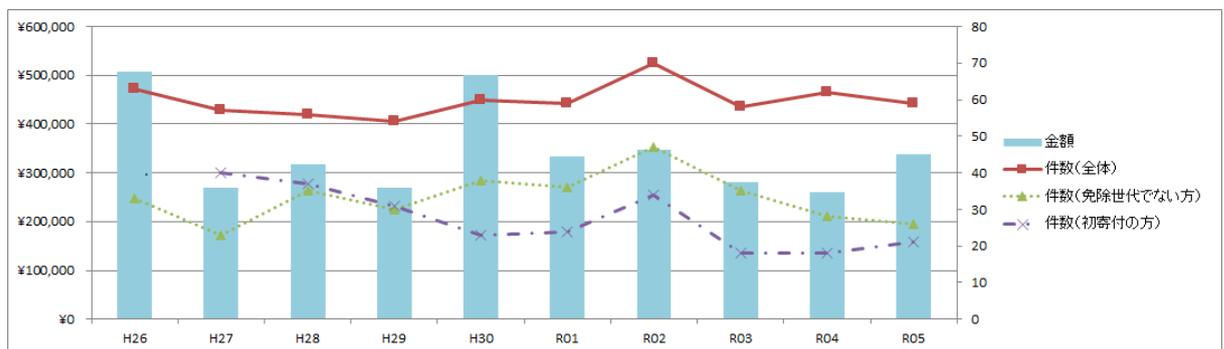
1. 令和5年度の会報を令和4年12月にウェブで公開した。
2. 若手の会の開催を支援した。令和5年度は下記の通り開催された。その様子は、美土利会ウェブで報告した。
  - ◎徳島支部 若手座談会（令和5年6月3日） 参加者33名
  - ◎広島支部 若手の会（令和5年12月20日） 参加者10名
  - ◎香川支部 若手幹事会（令和6年1月19日） 参加者3名
3. 会員の研鑽に寄与する活動を支援した。令和5年度は下記のとおり開催された。その様子は、美土利会ウェブで報告した。
  - ◎関東支部 新人歓迎セミナー（令和5年8月2日） 参加者14名
  - ◎関東支部 鉄道トンネル建設現場見学（令和5年9月8日） 参加者6名
  - ◎関東支部 土木遺産巡り（令和5年9月9日） 参加者4名
  - ◎関東支部 土木遺産・湧水巡り（令和5年11月12日） 参加者6名
4. 美土利会ウェブのスポンサー企業を対象とした合同業界研究セミナーを開催した。またスポンサー企業のPRやメッセージを学生に届ける特設ウェブページを開設した。
5. 令和6年4月18日（木）社会基盤デザインコース3年生対象の科目「キャリアプラン演習」にて、美土利会ウェブのスポンサー企業を対象とした企業研究を行った。

## 7) 財務委員会

バナー広告出稿企業数は令和5年度末時点で昨年度と同数の55社、広告収入は544,000円予算に対してプラス31,000円という結果になった。前年度から広告出稿している企業で現在出稿中の企業には、令和6年度も出稿していただけるよう働きかけた。

寄付金については総会案内と同時に広く呼びかけ、令和5年度の寄付金額は338,300円（昨年260,000円）、件数は59件（昨年62件）であった。そのうち会費免除の方は26件、企業1件、会費納入対象の方が32件（年会費納入時に寄付金額を加えて払い込んで下さるケースが多数）。

<年度ごとの寄付の推移>



## 2. 令和5年度 決算報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

[一般会計]

(単位：円)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
前期繰越金	9,840,395	9,840,395	印刷費	320,000	279,227
年会費(*1)	3,200,000	3,105,000	ウェブ維持管理費	200,000	200,000
バナー広告	550,000	544,000	サバサバ代	50,000	51,066
受取利子	605	56	通信運搬費	750,000	606,396
寄付金	0	338,300	庶務費	470,000	502,806
雑収入	0	0	会議費	70,000	82,625
			支部活動等通信費補助	330,000	300,000
			若手会員活動補助費	100,000	30,000
			旅費	650,000	530,158
			人件費	760,000	759,700
			学生に対するPR活動費	80,000	122,000
			会員の研鑽補助費	200,000	45,000
			予備費	9,611,000	0
			次期繰越金	0	10,318,773
合計	13,591,000	13,827,751		13,591,000	13,827,751

\*1 年会費には卒業・修了予定者の前納金を含む。

## 3. 令和5年度 監査報告

会計監査の結果、適正であることを認めます。

令和6年 4月 9日

監事 田中 勇気 

監事 馬場 俊孝 

#### 4. 令和6年度 本部役員

役職名	氏名 (卒業年次等)	
会長	橋本 親典 (教)	
副会長	(関東・東海) 寺田 光宏 (S54)	
	(関西・中国) 高瀬 徹 (H02)	*
	(四国・九州) 坂東 武 (S51)	
幹事長	上月 康則 (S63)	
常任幹事	(関東支部) 加藤 憲一 (S57)	
	(東海支部) 土橋 勝 (H01)	
	(大阪支部) 北澤 俊彦 (H01)	*
	(兵庫支部) 高瀬 徹 (H02)	*
	(山陰支部) 桑野 浩之 (S56)	*
	(岡山支部) 前田 秀夫 (S50)	
	(広島支部) 友道 康仁 (S58)	
	(徳島支部) 原 一郎 (S55)	*
	(徳島支部) 大和 直也 (H12)	*
	(香川支部) 西村 茂 (S58)	
	(香川支部) 三宅 和志 (S62)	*
	(愛媛支部) 田中 清 (H01)	
	(高知支部) 藤井 秀男 (S63)	*
	(九州支部) 中尾 謙二 (S55)	
	(総務委員会) 中田 成智 (教)	*
	(会員委員会) 森 直紀 (S57)	
	(交流・広報委員会) 奥嶋 政嗣 (教)	*
	(財務委員会) 天満 益郎 (S56)	
	(会計) 田村 隆雄 (H05)	*
幹事 (委員会委員)		
総務委員会		
委員長	中田 成智 (教)	*
委員	大和 直也 (H12)	
委員	小林 昌弘 (H12)	*
委員	奥嶋 政嗣 (教)	*
委員 (会計)	田村 隆雄 (H05)	*
委員	金井 純子 (教)	*
会員委員会		
委員長	森 直紀 (S57)	
委員	湯浅 恭史 (H29)	*
交流・広報委員会		
委員長	奥嶋 政嗣 (教)	*
委員	野田 稔 (H03)	*

委員	武市彰太	(H31)	
委員	大下由貴	(H31)	*
委員 (関東支部)	中村定明	(S60)	
委員 (東海支部)	河野智泰	(H12)	
委員 (大阪支部)	永江正広	(S60)	
委員 (兵庫支部)	北村征也	(H23)	*
委員 (山陰支部)	足立正文	(S53)	
委員 (岡山支部)	浦上郁雄	(H06)	
委員 (広島支部)	中元洋介	(H24)	
委員 (徳島支部)	加藤有輝也	(R03)	
委員 (香川支部)	島田辰哉	(H28)	*
委員 (愛媛支部)	尾崎航平	(H28)	*
委員 (高知支部)	中西雄大	(H29)	
委員 (九州支部)	中島誉志郎	(H12)	*

#### 財務委員会

委員長	天満益郎	(S56)	
委員 (関東支部)	米田康弘	(S59)	
委員 (東海支部)	黒川尚義	(H09)	
委員 (大阪支部)	木下義康	(H04)	
委員 (兵庫支部)	原光平	(H30)	*
委員 (山陰支部)	桑野浩之	(S56)	*
委員 (岡山支部)	馬越重泰	(S50)	
委員 (広島支部)	三宅健一	(H02)	
委員 (徳島支部)	浅野晋司	(H07)	
委員 (徳島支部)	大村史朗	(H07)	
委員 (香川支部)	西川英吉	(S60)	
委員 (香川支部)	檜垣和明	(S58)	*
委員 (愛媛支部)	須賀幸一	(S52)	
委員 (高知支部)	藤井秀男	(S63)	*
委員 (九州支部)	平野俊秀	(S57)	

会計 田村隆雄 (H05) \*

監事 田中勇氣 (H29)  
小川宏樹 (教) \*

相談役  
(前副会長) 吉栖伸輔 (S51)  
(前副会長) 藤山真希 (S58) \*  
(前会長) 長尾文明 (S54)

(\* : 新役員)

## 5. 令和6年度 事業計画

### 1. 総会の開催

令和6年度総会は、令和6年6月1日(土)に対面形式にて開催する。

令和7年度総会は慣例により6月の第1土曜日(令和7年6月7日)を開催予定とするが、変更する場合がある。確定した開催日と開催場所はウェブ上の「2024年度の会報」で通知するとともに、令和7年5月に全会員へ案内する。

### 2. 役員会の開催

#### 1) 常任幹事会

定例会議を、総会に先だって開催する。

#### 2) 幹事会

各種委員会活動の連絡・調整及び総会議案等のため、令和6年7月下旬及び令和7年5月中旬の2回開催する。

#### 3) 総務、会員、交流・広報、財務委員会

それぞれの職務を円滑に遂行するため、必要に応じて適宜開催する。

### 3. 美土利会会員の交流・広報活動

1) 会員用ウェブ等を活用し、会員間の交流促進、学生と会員の交流促進、情報提供の活性化等を図る。

2) 令和6年12月に「2024年度の会報」をウェブにて発行する。

3) 就職活動支援、リカレント活動支援を行う。

4) 各支部での「会員の研鑽に寄与する企画」および「若手の会」の活動支援を行う。

5) 美土利会主催の合同業界研究セミナーを開催する。

### 4. 学生の教育支援・PR活動

1) 令和6年度修了・卒業予定者に「美土利会説明会」を開催し、本会のPRを行う。

2) 令和6年度修了・卒業生のうち成績優秀者に大野賞及び美土利会賞を贈って表彰する。

3) 学部3年生のキャリアプラン演習に対する支援を行う。

4) 新入生研修に対する支援を行う。

5) 学部1～3年生の成績優秀者に美土利会賞を贈って表彰する。

### 5. 会費納付の簡便化

コンビニ等、新たな納付方法について検討する。

### 6. 寄附金の受け入れ

寄附金の積極的な受け入れを行う。

### 7. 美土利会の事業企画・評価

事業企画・評価委員会を開催し、美土利会の事業の企画及び評価を行う。

### 8. その他

1) 年度内に叙勲のご連絡をいただいた方にはお祝いを、ご逝去された方には弔電あるいは弔詞をお送りする。

2) 各支部及び短期大学部同窓会への通信費補助を行う。

## 6. 令和6年度 予算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

[一般会計]

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部		
項 目	金 額	項 目	金 額	摘 要
前期繰越金	10,318,773	印刷費	320,000	総会案内状, 出欠返信ハガキ, 振替用紙等 印刷/封入費
年会費	3,200,000	ウェブ維持管理費	200,000	ウェブシステム保守管理費
バナー広告	550,000	サーバー代	60,000	ウェブサーバー関係契約料, 各種手数料
利子	227	通信運搬費	750,000	郵便・メール便・宅配便送料, 電話代等
寄附金	0	庶務費	520,000	慶弔記念品, 事務用品, コピー代, 各種振込手数料, アルバイト料 等
		会議費	90,000	常任幹事会 会議室室料/昼食費, プロジェクター&スクリーン使用料, 総会看板代
		支部活動等通信費補助	330,000	支部総会, 短期大学部同窓会へ通信費補助
		若手会員活動補助費	100,000	若手の会開催補助
		旅費	600,000	各支部総会出席旅費, 常任幹事会出席旅費
		人件費	780,000	事務職員給与
		学生に対するPR活動費	100,000	招待学生の総会懇親会費, 在学生表彰の副賞, 新入生への記念品 等
		会員の研鑽補助費	250,000	会員の研鑽推進企画への補助
		予備費	9,969,000	
合 計	14,069,000	合 計	14,069,000	

## 7. その他